

八丈島 水産だより

2月号



今年初めに、八丈島にも雪が降り、八丈富士頂上に少し積もり、八丈島にとっては、とても珍しい雪景色となりました。

黄色く、ほおずきみたいな花は、八丈島で温室栽培されている『サンダーソニア』、別名『クリスマスベル』といい、その名のとおり、クリスマスごろが最盛期で、2月頃まで咲いています。



海が荒れて、漁に出られない時を「風間(かま)」といいます。そんな時には、写真のように漁具の手入れをしながら、体を休めておきます。

この写真は、もうすぐ始まるトビウオ漁で使う流し刺し網で、網が破れていないかどうか網を広げて確認しているところです。

トビウオは伊豆諸島では主に流し刺し網でとっています。魚の通り道に長い網を潮に流すように置いて、そこに魚が刺さったところ(下図参照)を、引き上げます。トビウオ漁は、夜出航して、朝帰ってくる夜の仕事なので、漁師さんは寝不足になりがちですが、このときとばかり、骨身を惜しまず漁に出ます。



【トビウオ流刺網】

引用:とびうおの漁 関東農政庁東京統計・情報センター

トビウオはカツオの次に八丈でよく取れる重要な魚で、クサヤなどに加工されるほか、島の学校給食によく登場します。今年も一年中食べられるほど、大漁になることを祈っています。

今年は黒潮が島の近くを流れているため、暖かい水温(20℃代)が八丈島の横を流っています。1月は、この流れに乗ってきたキハダマグロなどが、漁獲されました。まもなく待ちに待ったトビウオやカツオも黒潮に乗ってやって来ます。



■左の写真

昨年夏、東京で八丈島のトビウオを使った調理講習会が開かれた時のメニューです。

たくさんのメニューがあり、子供達に大人気です。

**今年も、たくさん
お魚を食べましょ
うネ！
八丈島のお魚を
よろしく！**